



**Institute of Social Science, University of Tokyo:
Contemporary China Research Base Seminar Series (No.8)**

現代中国研究拠点セミナーシリーズ(第八回)

報告者：趙全勝教授（アメリカン大学国際関係学部教授兼アジア研究所所長）

Prof. Quansheng Zhao (American University, Washington)

論題：美国战略团队与美日中三边关系的动荡

（アメリカの戦略チームと日米中関係の変動）

言語(Language)：中国語(Chinese)

なお、質疑応答時、日中通訳が付く予定です

コーディネーター：王雪萍（東京大学）

日時：2013年11月27日（水） 16：30～18：00

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館 4階会議室（コラボレーションルーム4）

キャンパスマップ：

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_17_j.html

趙全勝氏紹介

米国アメリカン大学（American University）国際関係学部教授、アジア研究所所長。1999年から2008年まで同大学比較地域研究学科長。また、ハーバード大学フェアバンク東アジア研究センター研究員、北京大学、復旦大学、高麗大学客員教授。中国政治学者グローバル・フォーラム・コーディネーター。

北京大学国際政治学部卒業。カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号取得。その後、ハーバード大学でポストドクター（post-doctoral）として一年間研究。タフツ大学フレッチャー・スクールとオールド・ドミニオン大学で教員を務める。日本国際交流基金客員研究員（東京大学）、ハーバード大学太平洋地域研究員、米国平和研究所上級研究員、香港科学技術大学客員教授、ハワイの東西センター・リサーチ・フェローを歴任。短期間の研究と教員（2週間から4ヶ月間まで）を、日本（青山学院大学、立命館大学、島根大学、創価大学、中央大学、宇都宮大学）、中国（復旦大学）、香港（香港城市大学）、台湾（国立政治大学）、シンガポール（シンガポール国立大学）、ヨーロッパ（オックスフォード大学、ストックホルム大学、ライデン大学、ヨーロッパ日本研究所）等で行う。主要な研究領域

は国際関係及び比較政治学。専門は中国と日本における内政と外交、東アジアの国際関係。

その他、*Comparative Perspectives in Modern Asia* の編者、雑誌 *Journal of Strategic Studies*, *China Review*, *Journal of Contemporary China*, *Journal of Chinese Political Science*, 『香港社会科学』（中国語）の編集委員、フルブライト・プログラム、ウッドロー・ウィルソン国際学術センター、米国平和研究所、国家安全保障教育プログラムにおける奨学金・研究助成金ピア・レビュー顧問パネルのメンバーを務める。加えてグロマイヤー賞の世界体制を改善するためのアイデア部門の国際審査員を務める。さらに米国議会公聴会において、中国経済発展に関する証言も行った。また、国連のコンサルタントも務める。